

認知症サポーター養成講座 児童らが身をもって体験学習

町包括支援センターが企画した認知症サポーター養成講座が2月28日、町内小学生を対象に開講されました。認知症をはじめとする高齢者が抱える問題は、子ども達にとっても身近で重要な問題。器具を装着し、高齢者疑似体験をした児童は、普段より重い体に「少し動くだけでも疲れる」と話していました。認知症や高齢者の特徴を理解し、対応の仕方や支え合う社会の大切さを学んでいました。



▲高齢者の立場になって生活のしづらさなどを体験した

柿崎さんが自衛隊に新入隊 正しい判断と行動ができる自衛官に

3月22日、この春に自衛隊に新入隊する柿崎きずなさん（荒屋）の激励会を開催しました。今年、金山からの入隊は柿崎さんひとり。倍率4倍を突破した柿崎さんは「大変なことが多いと思うが、仲間と協力して乗り越えたい。正しい判断と行動ができる自衛官になりたい」と決意を述べ、表情を引き締めていました。実は兄の翔太さんも自衛官。兄弟お二人の今後の活躍に期待します。



▲入隊にあたり決意を述べる柿崎きずなさん

▼設計事例や模型を用いて木構造基本架構を紹介した



伝統的木構造のすばらしさを 金山大工・職人技術研修会

町が主催し、新庄最上建設総合組合金山支部加盟の大工・職人を対象とした研修会が3月3日、蔵史館を会場に開催されました。きごころ橋などの構造設計を手掛けた(株)増田建築構造事務所の増田一眞氏が講演。増田氏は「『構造』と『意匠』が合致した無駄のない空間を創るための伝統的木構造を、認識・活用してほしい」と話し、出席者からは職人ならではの技術的な質問が出されていました。

▼みすぎ荘では、開荘当初からこの時期にはお雛様を展示



きらびやかなお雛様を囲んで みすぎ荘でひな祭りを祝う

3月2日、特別養護老人ホームみすぎ荘で、ひな祭り行事が行われました。正面入口すぐのホールには、きらびやかに飾られたお雛様を展示。また、ステージでは千川楽栄会の皆さんが舞踊を披露し、祭りに華を添えました。利用者の皆さんは、お雛様を囲んで談笑したり、お茶を飲みながら舞踊を楽しんだり、思い思いに楽しい時間を過ごしていました。



1_3年A組の集合写真 2_3年B組の集合写真 3_卒業生の担任団の先生方。感動のあまり涙する先生も

子ども達による熱戦 歴史ある白銀少年スキー選手権大会

白銀会が主催する第61回白銀少年スキー選手権大会が2月25日、神室スキー場で開催されました。町内はもちろん、県内外から約180名の選手が出場。距離競技の男子リレーで有屋スキースポ少が2位、女子リレーで明安スキースポ少が3位に入賞したほか、個人種目においても多くの町内選手が活躍。子ども達の熱戦により、歴史ある本大会に今年も新たな1ページが刻まれました。



▲2部女子距離競技、ゴール直前で繰り広げられた接戦

まちのわだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

ワカツバメ巣立つ—— 金山中学校で卒業証書授与式

第71回を数える金山中学校卒業証書授与式が、3月16日に執り行われ、52名が学び舎を巣立ちました。卒業生代表の和田宣人さんは「力を合わせることの楽しさや大切さを、みんなとだから学ぶことができた」と涙ながらに別れの言葉を述べ、仲間との別れを惜しんでいました。

また、3月18日に行われた町内3小学校の卒業証書授与式。卒業生たちの堂々たる姿に、先生やご家族は目に涙を浮かべ6年間の成長を喜んでいました。4月からは金山中生として、活躍を期待します。

▼63台が雪を巻き上げ競った「力試し走行会」



カムロスノーライドフェスティバル 全国からライダーが集結

3月3～4日の2日間、グリーンバレー神室を会場に「2018 Kamuro Snow Ride Festival」が開催されました。全国的にも珍しい雪上でのバイクイベントに全国から63名のライダーが集結。選手たちは雪にタイヤをとられ転倒しながらも、懸命に雪を巻き上げながらバイクを走らせていました。来年も金山オリジナルとして多くの方に楽しんでほしい雪上イベントです。